

細江カトリック教会だより 11,12月合併号

〒750-0016 下関市細江町1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

降誕祭を間近に控えて

年の瀬を迎え、平成の日々も残り少なくなってくると、つい、過ぎ去った年月、また、今わたしたちの生きている世界の状況を考えてみたくなるものですが、まず、頭に浮かぶのは、どこを見渡しても未解決な問題、それも、解決の難しい問題ばかりが軒を連ねている気がします。どこの国ももはや無関係とは言えない、グローバル時代の国際問題をはじめ、異常気象と一言で片づけられない世界を覆う自然災害の問題、そして、オリンピック開催の陰で忘れられてしまったような国内の問題、そして、高齢化が一举に進む日本の教会の問題等。あたかも書類が山と積まれた机、足の踏み場もないほど散らかった部屋のような状況を呈しています。

しかし、これは今始まったことではなく、2000年前、神が人となってこの世にお生まれになったときのユダヤも同じような状況だったのではないのでしょうか。絶対的な力を誇るローマ帝国の支配、そのもとでユダヤ人の王を装って贅を尽くすヘロデ一族、そして、宗教の名を借りて民衆を苦しめる宗教指導者、その3重の支配構造のも

とに生きる庶民の一人として、イエスは、寒村ナザレで生を得、人々の味わう喜びと悲しみ、苦しみと痛みをすべてご自分のものとされたのです。

主がお出でになって、人間の抱える問題がすべて解決されたのでしょうか。主の言葉と働きによって世界の歩みが大きく変えられたのでしょうか。確かに、大きく変えられた部分があります。凍り付いた心に愛の灯がともされました。無関心な人々に行動への意欲が生じました。しかし、世界の問題が解決に至るには、まだまだ時間が必要なようです。いな、人間が生きるかぎり、問題はなくならないのかもしれませんが、今、教会は、人類の抱えている問題を、自らの問題として、主と共に取り組むよう召されています。闇の中に輝く光のように、たとえ小さな光であっても、主が先だって掲げてくださった真の光を仰ぎながら、ささやかな歩みを続けてゆく決意を新たにいたしましょう。



作道宗三 神父



*挿絵は「馬小屋」下関天使幼稚園の製作
(細江教会玄関ホール)

地区だより VII

安岡地区

私は、結婚4年目に主人が病気で急死しましたので、旧姓の深堀に戻っています。

若い時は、あまり自分のルーツについて関心がなかったのですが、30代後半になり知りたくなり、色々調べることになりました。

私の祖父の深堀惣市は、長崎浦上の出身です。親戚は、シスターや神父になっています。祖父は若くして、長崎を出て北九州で働いている時に、祖母の橋本キヌと出会い結婚し、台湾で事業に成功していたそうです。終戦で、長崎に引き揚げるところ、原爆で、浦上は壊滅状態だったので、祖母の故郷である安岡に引き揚げたそうです。戦後、並々ならぬ苦勞をして、土地家屋を買って、今に至っております。

長崎の祖父の姉である深堀マキが、浦上から送ってきた本「信仰の礎」浦上信徒総流配100周年記念(1969年)を注意深く読みました。1868年7月20日から1870年1月8日までの間に浦上信徒700戸余り3400余名が名古屋以西の20班に総流配になったとありました。

私の先祖、深堀市次郎、キク、由松、福松の名も徳島(阿波行)の中にありました。祖父は、祖先のことを生前に語ることはなかったので、私は知りませんでした。書店で買い求めた永井隆博士の「この子を残して」や「長崎の鐘」の著書の中で、記述があり少し知ることができました。

先祖は江戸時代に隠れキリシタンで苦勞し、それでも信仰を捨てず子孫に伝えたことに頭の下がる思いがします。

一族がカトリック信者で、私は幼児洗礼でした。天使幼稚園の田尾先生が代母になってくださり、先生の霊名の「ベルナデッタ」をいただきました。

また住田神父さまやシスター弓野さま(三位一体の聖体宣教女会)にも、大変お世話になり感謝しております。

来年3月には、私も60才を迎えます。昨年3月に交通事故に遭い、その時に初期の腎盂ガンが見つかり、つくづく自分は生かされているのだと気づかされました。

人はとかく自分ばかりが不幸だと思いがちですが、常に「砂上の足跡」の話のように、神さまは私たちを思い、共に歩んでくださっていると、深く感じました。

私はしばらくの間 教会から遠ざかっておりましたが、これからはなるべく、ごミサに与ろうと思っています。

皆さま、今後ともよろしく願います。

ベルナデッタ 深堀一恵



結婚式 10/21(日)



*白濱信さんと小野桂子さんの結婚式が和やかに行われました。

父親の白濱幸一さんと兄の開さん、ご親族の見守る中を少し緊張気味の信さん。

これからのお二人の人生に、神さまの祝福が豊かに注がれますように・・・。

ペトロ祭 10/28 (日)

*ペトロはイエスに言った。
「あなたは生ける神の子 キリスト
です。」

イエスは答えて仰せになった。
「お前はペトロ、この岩の上に教会を
建てる。」



*暁の星幼稚園の先生も子どもゲームコーナ
ーをお手伝いで、参加して下さった。



*いつも参加協力してくださる皆さまに感
謝！



*ホールの様子。大勢の方々でにぎあう。



*いつもありがとう！彦島教会チヂミチーム。
後方にトッポギ作りの小さい姉妹会。

下関ブロック納骨堂のお知らせ

11月3日(土)に長府教会で合同慰
霊祭のミサが捧げられました。

例年は、11月2日「死者の日」の夜
に行われていましたが、今年は高齢の方
や夜は出にくい方々に配慮して午前中
になりました。

土曜日と祭日が重なったこともあり、
沢山の方々に参加していただき感謝い
たします。

毎年夏(8月第2土曜日)と秋(11月
3日)に、亡くなられたご家族・友人の
ために祈りを捧げています。

納骨されていない方も親しかったお
友達のことを思い出され、共にミサに与
り祈りを捧げてくだされば幸いです。



*焼きそば係
の若者たち
は、いつも
元気に活躍。

*若者に負けじと、
シニアの焼き鳥屋
さんは頑張る！



参考までに、納骨に際しての諸費用を下記に明記していますので、ごらんください。

使用料 129,600円 (消費税を含む)
 永代祭儀費 130,000円
 年間祭儀費 6,000円 (一ヶ年に付)
 一時預かり料 10,000円 (一ヶ年に付)

*詳細については、納骨堂委員にお尋ねください。

最後になりましたが、長府カトリック教会の皆さまが、いつも心を込めてお世話してくださっていることに、改めて感謝したいと思います。

納骨堂委員 永松和子



編集後記

実家(愛媛県松山)の庭の手入れと清掃に帰省しました。

いつもは、しまなみ海道ルートを通るのですが、今回は柳井～三津浜フェリーを利用しました。

下記の写真は、今話題になっている周防大島の橋です。橋の下に通っている送水管の破壊により、大島の方々は水が使えない状態でした。最近の報道では、少しずつ改善されているようですが、まだまだ全世帯には行き届かないようです。

水や電気の使用があたりまえようになって、なんの不自由もない私たちの生活と、世界で起こっている自然災害や人工的災害、また人間の愚かさによって破壊されている自然物の大切さを、あらためて感じ考えさせられる日々でした。(こ)



(フェリーからの撮影)



12月の行事と典礼歴

- * 12月 2日(日) 待降節第1主日
- * 12月 9日(日) 待降節第2主日
9:00 待降節黙想会
講師:植栗彌神父(イエズス会)
- * 12月16日(日) 待降節第3主日
ミサ後、大掃除
- * 12月23日(日) 待降節第4主日
- * 12月24日(月) 19:00
主の降誕 夜半のミサ
- * 12月25日(火) 11:00
主の降誕 日中のミサ
- * 12月26日(水) 13:00
常任委員会
- * 12月30日(日) 聖家族
2019年
- * 1月 1日(火) 11:00
新年のミサ(神の母聖マリア)
- * 1月 4日(金) 11:00
初金ミサ
- * 1月 6日(日) 主の公現
宣教司牧評議会

※細江教会の元旦深夜ミサと1月2日、3日のミサはありません。



募集

来年の干支は「イノシシ」です。
 いのしし歳の方は、来年の抱負・お願い事・希望 etc、何でもよいのでコメントをお願いします。(男女年齢問わず)12月20日までに。

また、いろんな投稿をお待ちしています。

広報委員会

